

事前評価個表

整理番号	17
------	----

地域（地区）名	やまぐち 山口	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山口県	対象市町村	やまぐちし 山口市ほか4市
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は、山口県の中央部に位置し、南は瀬戸内海に面し、山口市ほか4市で構成されている。 森林面積は143千ha（森林率68%）で、このうち計画の対象となる民有林は137千haであり、スギ・ヒノキを主体とする人工林は61千ha（人工林率45%）となっている。 人工林の齢級構成は、12齢級をピークとして利用期を迎えた森林が増加しており、成熟期を迎えた10齢級以上の森林は全体の80%を占めるなど、森林資源の充実が進む一方で、間伐対象森林（4～9齢級）が全体の16%を占めており、健全な森林を育成していく上で、主伐・再造林により森林資源の循環利用を図り、適切な時期に間伐を行う等、持続的な森林経営を行うことが必要となっている。 しかし、本地区では、近年の林業採算性の低下や林業従事者の減少、森林所有規模が小規模零細であり、森林施業の集約化が進まないことなどを要因として、間伐等の森林施業が遅れ、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。 このため、本事業では、森林資源の循環利用と森林の有する水源涵養、土砂流出防止等の公益的機能の持続的な発揮のため、施業地の集約化を図るとともに、高性能林業機械の導入等による低コストで効率的な作業システムにより、間伐や再造林等の森林施業を計画的に実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：2,672ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等 総事業費：1,383,272千円（税抜き 1,257,520千円）
費用便益分析結果	$B/C = 6.56$ （総便益（B）＝10,176,927千円、総費用（C）＝1,552,073千円）
評価結果	必要性： 間伐対象森林を多く有し、森林の有する公益的機能の発揮のため、適切な森林整備が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。 有効性： 施業地の集約化や低コストで効率的な作業システムに取り組み、小規模の森林所有者が多い等の地域性への対応を図り、森林資源の循環利用等を目指しており、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名： 山口県

地域（地区）名： 山口

（単位：千円）

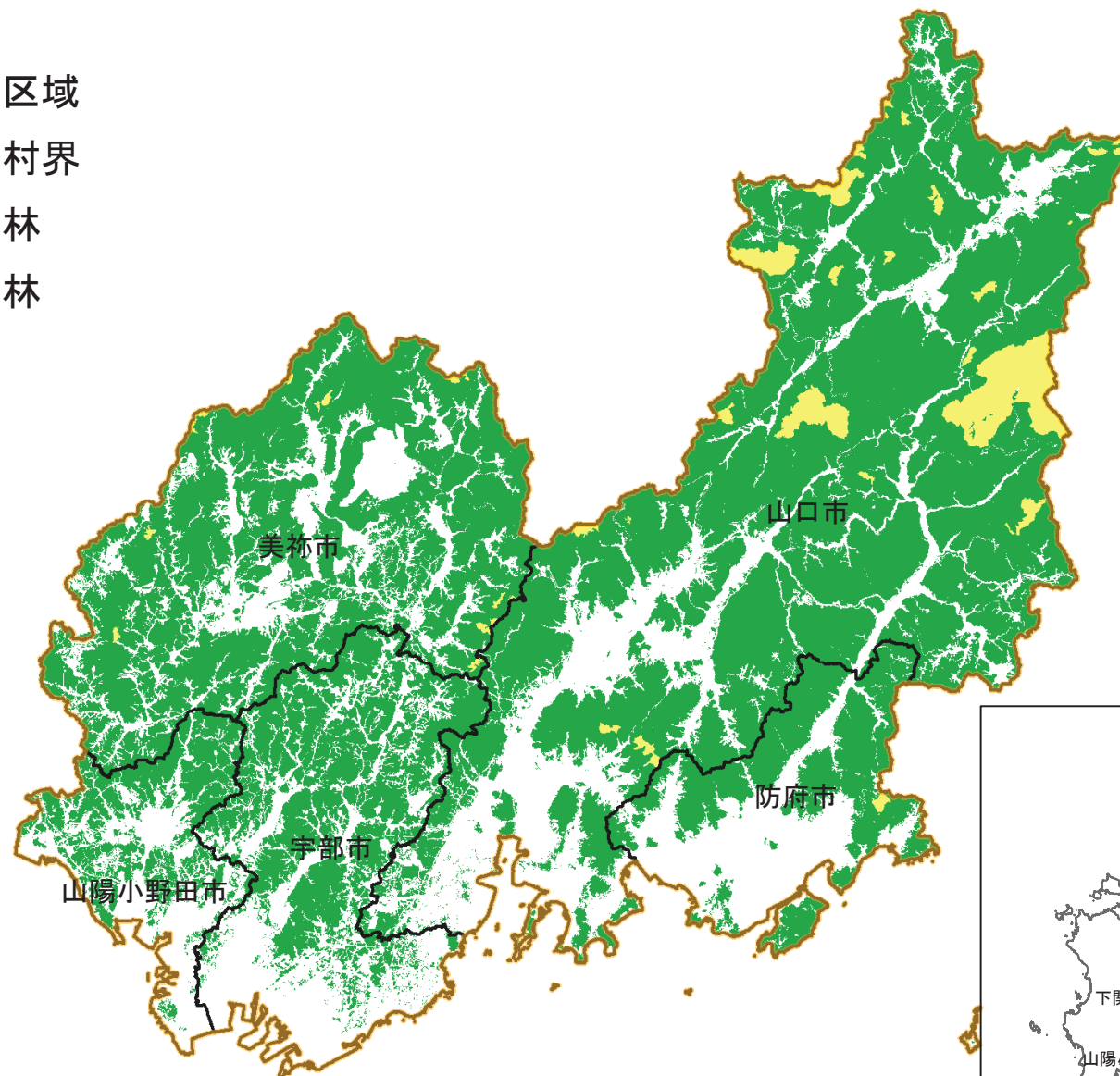
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,785,437	
	流域貯水便益	503,332	
	水質浄化便益	2,078,179	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,905,981	
環境保全便益	炭素固定便益	538,602	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,365,396	
総 便 益 (B)		10,176,927	
総 費 用 (C)		1,552,073	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,176,927}{1,552,073} = 6.56$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{16,660,430}{1,813,321} = 9.19$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{22,160,359}{1,995,904} = 11.10$		

森林環境保全整備事業 山口地域（山口県）概要図

- 事業区域
- 市町村界
- 国有林
- 民有林



0 5 10 キロメートル

